

「体験的に学ぶ防災教育推進フォーラム」で講演しました（2015/1/23）

テーマ：生涯学習，体験活動，防災教育，防災キャンプ
場所：松島町文化観光交流館（宮城県松島町）

1月23日(金)，松島町文化観光交流館において、「体験的に学ぶ防災教育推進フォーラム～体験活動と地域協働で生き抜く知恵と力を育む～」が開催されました。フォーラムは，佐藤 健教授（情報管理・社会連携部門 災害復興実践学分野）による基調講演と，文部科学省委託事業の体験活動推進プロジェクトの3つの実践団体（気仙沼市・七ヶ浜町・松島町の各教育委員会派遣社会教育主事）からの実践報告で構成されました。当日は宮城県教育委員会教育長，松島町教育委員会教育長をはじめとした教育行政関係者，防災教育や社会教育に関わる学校関係者，公民館職員，一般県民も含め約100名の方が参加しました。

基調講演では，「防災教育で災害に強い地域をつくる」という演題で，仙台市において東日本大震災以前から継続的に取り組まれている「学びのコミュニティながまち」でのぼうさいキャンプの実践事例，「こども防災モニター」の実践事例，石巻市立鹿妻小学校での復興教育の実践事例，横浜市立北綱島小学校での防災教育の紹介などが行われました。また，気仙沼市・七ヶ浜町・松島町による実践発表では，「多様な主体と連携した体験的防災教育の試み」という全体テーマのもと，地域の教育力を生かし，生き抜く力を身に付ける防災キャンプの実践事例が紹介されました。最後に，フロアからの質疑応答やフリーディスカッションも行われ，体験型の防災教育の成果と課題について，情報共有や共通理解を得る貴重な機会となりました。



講演風景



総合討論

文責：佐藤 健（情報管理・社会連携部門）